

■西条店・竹下 ■三原店・花田・若林 ■ekie店・リン・榎本・藤田
 ■カルビ西条店・村井・志方・園田・西谷 ■鮮魚店・谷山・西本・渡辺
 ●オブザーバー・西田龍一取締役・森清部長・小森部長・清水室長【参加者敬称略】
 ●講師・香原慎一郎氏

2月14日(木)

社内
就職支援セミナー
開催

第2回

昨年好評の、「第2回 就職支援セミナー」(各店舗のアルバイトの学生さん・社員を含む若いスタッフさん対象)を開催しました。今回は13人の参加があり、快く送り出してくださった店長・スタッフの皆さんに感謝です。色々勉強になり、実りあるセミナーになった様子を、皆さんのレポートから抜粋して紹介します。



●西田取締役・ご自身の就活の話して場が和みました



●DISC理論に基づきグループワーク



●個々の傾向を香原氏から解説

◆セミナーを受けての感想

一番心に響いたのは「生きる事は体験する事」という言葉でした。最初に自分で考えた時は「満足する事」等、いろいろ考えてみましたが、人生において良い事も悪い事もすべて体験する事だと考えると、全てに意味があり、そこから自分は何かを学び・感じ、今後に生かしていくと考えることが出来ました。【村井】

就職に関する活動に参加するのが初めてで、とても良い刺激になりました。私自身、「自分ってなんだろう」「将来どうしよう」と思い詰めていた時にこの機会をいただき、新しい考え方や出会いもあり、悩みが軽くなりました。【園田】

DISC理論はとても参考になる話だった。仕事をやる上で、仕事の技術・スピードも必要だが、職場での人間関係が一番重要だと思うので、生かせる話だった。【谷山】

香原先生のお話は非常に勉強になりました。とても理論的な話の展開で聴いていて、終始楽しい時間となりました。自分以外はこの先就活を控えた人ばかりで、自分みたいの人が参加していいのかな正直不安でしたが、将来歯科医師として働く自分にとって役立つ理論や世界観を知る事が出来、若いうちからこのような機会に携われたことはいい経験になったと思います。【藤田】

いろんな事が勉強になりました。自分の事をよく知ることができました。人間関係や経営管理能力が上がりました。【リン】

一番印象に残っている事は、DISC理論です。DISC理論を行う事で自分がどのような性格か知る事ができ、自分に合う性格の人・合わない人等、話すだけで理解できる力を身に付けられたので良かった。【若林】

今までに関わってきた人がDISCのどれにあてはまるのかなど考えていると、よりDISC理論についての理解が深まったように感じました。同時に苦手な人に対して、そもそも欲求に差があるから、その違いが受け入れられなかったのだと思うと、もう少し苦手な人にも歩み寄りてみようかなと思えるようになりました。就職支援のためのセミナーでしたが、就職だけでなく、これからの人生に役立つ知識を得ることができました。【竹下】

もちろん最初から運のある人はいるが、運を引き寄せるためにも、自分から動かなければ何も起きないので、自ら行動し、何か失敗したり困難にぶつかったとしても、それは体験すべきことだったんだとプラスにとらえる事の大切さを教えていただいたので、それを今後実施していきたいです。【榎本】

今まで性格診断など何回かしたことはあったが、その結果を知る事はなかった。しかしDISC理論では、自分の性格の傾向、苦手な人のタイプを知る事が出来た。今後、社会に出れば必ず苦手な人に出会う。その時、この理論を思い出してその人の傾向を知り乗り越えていきたいです。【西谷】



◆懇親会(食事会)の感想

他店舗の方々と深い話ができて、とても有意義な時間だったように思います。セミナー後ということもあり、皆さんが『自分がどうしたいか』について、いつもより心置きなく話せていたのではないのでしょうか。香原先生を始め、人生の先輩方の話を聞く事ができ、とてもためになりました。【渡辺】

DISC理論を学んだ上で自分と異なる人と話してみると、会話がスムーズになり、楽しい食事会になりました。【志方】

普段話をする事のない他店の方や、まだ部長さん達と話をする機会がありました。他店の方々は、アルバイトや学校の話等たくさん話せる事ができ、とても楽しい時間でした。部長さんには、困っている事はないかとたくさん相談にのっていただき、とてもためになる食事会でした。【花田】

懇親会では焼き肉に連れて行っていただき、お酒の席でもあったので他の店舗の方々と話す機会があり、私はekie店のリンさんと会話をした内容が印象的でした。リンさんは台湾から日本料理を学びに日本に来ている。また今後は、台湾でも出店を考えている。私は、リンさんのように、学びたい事のために、海外に行く事の出来る勇気がすごいと考えた。【西本】



その料理長からは、料理の事だけでなく人として大切な事もたくさん教えていただきました。「とにかく大きな声で元気よく、自分から挨拶しなさい」と言われまして、自分呼ばれて返事をしなかった時はよくどつかれました。私が就職した時に同じ年の子が一人いました。その同じ年の子は、一緒に賭博を作ったり、雑用をしていたりして辛い修行をした仲間でした。料理長は「同じ年の子にはライバル心は持ってほしいけど、兄弟弟子なのだから、助け合い、競い合いながら、大切にしないさ」とよく言われました。

私が料理人になろうと思ったのは、物心ついた頃からでした。父が和食の料理人伊勢海老のお刺身を作ってくれたのを覚えています。その影響があったのか、いつしか料理人になろうと思ったのは、高校2年生の時でした。父に料理人になると伝えた時は「苦勞するから止めておけ」と言われましたが、反対を押し切って料理人になる決めました。父に反対されたも、私は料理人以外の道は考えられなかったからです。父に一度料理人になると伝えたら時には「本気でやるなら応援してやる」と父は言ってくれ、市内の和食店に勉強に連れて行ってってくれました。今思えば父は嬉しかったのかなと思います。

高校を卒業し、岩国国際観光ホテルに就職しました。職人さんが17、18名もいる大所帯で厳しい職人さん達に鍛えられました。その調理場の料理長さんは私の恩人のような人です。

その料理長からは、料理の事だけでなく人として大切な事もたくさん教えていただきました。「とにかく大きな声で元気よく、自分から挨拶しなさい」と言われまして、自分呼ばれて返事をしなかった時はよくどつかれました。私が就職した時に同じ年の子が一人いました。その同じ年の子は、一緒に賭博を作ったり、雑用をしていたりして辛い修行をした仲間でした。料理長は「同じ年の子にはライバル心は持ってほしいけど、兄弟弟子なのだから、助け合い、競い合いながら、大切にしないさ」とよく言われました。

「わたしのVIVID」
 部の料亭 地御前 山口 領

私が料理人になろうと思ったのは、物心ついた頃からでした。父が和食の料理人伊勢海老のお刺身を作ってくれたのを覚えています。その影響があったのか、いつしか料理人になろうと思ったのは、高校2年生の時でした。父に料理人になると伝えた時は「苦勞するから止めておけ」と言われましたが、反対を押し切って料理人になる決めました。父に反対されたも、私は料理人以外の道は考えられなかったからです。父に一度料理人になると伝えたら時には「本気でやるなら応援してやる」と父は言ってくれ、市内の和食店に勉強に連れて行ってってくれました。今思えば父は嬉しかったのかなと思います。

高校を卒業し、岩国国際観光ホテルに就職しました。職人さんが17、18名もいる大所帯で厳しい職人さん達に鍛えられました。その調理場の料理長さんは私の恩人のような人です。

その料理長からは、料理の事だけでなく人として大切な事もたくさん教えていただきました。「とにかく大きな声で元気よく、自分から挨拶しなさい」と言われまして、自分呼ばれて返事をしなかった時はよくどつかれました。私が就職した時に同じ年の子が一人いました。その同じ年の子は、一緒に賭博を作ったり、雑用をしていたりして辛い修行をした仲間でした。料理長は「同じ年の子にはライバル心は持ってほしいけど、兄弟弟子なのだから、助け合い、競い合いながら、大切にしないさ」とよく言われました。

よく言われました。「一緒に働く仲間を大切にしないさ」という言葉を今でも覚えています。その他に料理長から言われたことは、「努力は人に見せるものではない」という事です。陰で努力してこそ本当の努力だとも覚えていてます。

私が、部の料亭に入ってから3年が経ちます。今は、焼き場と揚げ場を担当しています。2つのポジションを担当することは大変ですが、やり甲斐もあります。先輩から、「お客様をお待たせしてはいけない」とよく言われていたので、今でも覚えていてます。

私が活き活きと働けるのは、1日でも早く料理長になるという目標があるからです。料理長になって、自分のチームを作りたいです。いいチームでなければ、私が思ういいチームからは、働く時は真剣に働き、遊ぶときは真剣に遊ぶ。メリハリのある仕事ができ、一緒に達成感を感じ合えるようなチームです。そんなチームを作る料理長になり、いつかは自分の店を持ちたいです。私が作りたい店は、誰もがふらっと気軽に立ち寄れるような店で、基本的に忠実で昔ながらの和食を出す店です。

まだまだ勉強しなくてはならないことはたくさんありますが、1日でも早く料理長になり、父を超える料理人になること、それが1番の親孝行だと思えますし、それが私のビビッドです。

V-styles
 ヴィ・スタイルズ・アイ
 社内報

鮮コーポレーション株式会社

2019年 3月号

No.219

今月の社内報【コンテンツ】

- 第2回社内就職支援セミナー開催
- リレーメッセージ わたしのVIVID
- ホノルルマラソンへの道 vol.2
- We are 鮮コーポレーション
・卒業するスタッフさん紹介 その②

発行 鮮コーポレーション株式会社
 本部企画室

広島県庄原市西本町2-18-8 新興ビル 4F
 Tel (0824)72-0135
 Fax (0824)72-6738
 ◆ http://www.v-style.co.jp
 ◆ e-mail nisida@mocha.ocn.ne.jp

鮮コーポレーション 社内情報

鮮コーポレーションスポーツ
 ホノルルマラソンへの道vol.2

2019 ホノルルマラソン
 出場者決定!!

第2回『ホノルルマラソンへの道』への参加者が決まりました。再挑戦する小林部長を始め、熱血森清部長も参戦!!闘志漲る吉井店長と奥原さんと共に、女性ランナーも初参戦する事になりました。今回も強烈な個性の鮮コーポレーション軍団が吠えます!走ります!!挑戦します!!!

- ・小林部長 (西田鮮魚)
- ・森清部長 (本部)
- ・吉井店長 (ゆめタウン廿日市店)
- ・奥原 歩久斗さん (西田鮮魚)
- ・綾部 久美子さん (ekie店)
- ・西河内 瞳さん (可部店)



今回、小林団長が選考に各店舗に行かれ、ホノルルマラソンメンバーの面接をされました。

可部店 西河内さん
 「今までスポーツはしたことがないけれど、チャレンジし行動をする事で新たな経験をしたい」

ekie店 綾部さん
 「キッカケは、昔は陸上部で走っていたこともあり、軽い気持ちで応募しました。40歳という節目もあり、チャレンジすることで新しい自分になりたい」

女性ランナーとなるお二人の意気込みがメンバーの決定に繋がりました。

